

第52回 野菜・花き種苗改善審査会 ‘春まきダイコン’の部が開催されました

平成22年5月13日（木）、東京都農林総合研究センターを会場にして、東京都種苗研究会主催第52回野菜・花き種苗改善審査会‘春まきダイコン’の部が開催されました。



収穫物審査

1 出品点数 25点（内、参考品種5点）

2 栽培概要

- (1)供試圃場 東京都農林総合研究センター
洪積土圃場（表層腐植質黒ボク土）
前作ハクサイ
- (2)播 種 2010年2月23日 1穴3粒まき
マルチに透明ホーリーシート9230（千鳥）を使用
- (3)被 覆 播種直後から4月1日まで「パスライト」のべたがけ、同4月19日まで「ユーラックカンキ4号」のトンネル被覆
- (4)間 引 4月1日（1穴1本立ち）
- (5)区 制 1区約30株の2連制
ベッド幅70cm、通路50cm、2条（5,550株/10a）
- (6)施 肥 基肥：N-P₂O₅-K₂Oを成分量で10-15-10kg/10a
追肥：N-P₂O₅-K₂Oを成分量で3-1.9-2.6kg/10a（4月19日）
- (7)病虫害防除 東京都病虫害防除指針に従って実施した。

3. 生育概要

- (1) 播種後1ヵ月間は、平年に対して日照時間は少ないものの、気温は高く推移した。出芽はいずれの品種も良好で、出芽始めは3月1日、出芽揃いは3月4日であった。
- (2) 3月下旬～4月中旬は日照時間が少なく、気温は低く推移した。当初、生育は遅れ気味であったが、トンネル除去時期を遅らせたことなどにより回復した。
- (3) 4月下旬にまとまった降雨があり、5月上旬は好天が続き気温が上昇した。このため、根部の肥大が急速に進んだ。一方で、下位葉の黄化が発生した。
- (4) アブラムシが一部で発生したが、その他の病虫害の被害はほぼ認められなかった。
- (5) 5月7日には概ねすべての品種が収穫期に達した。
本審査日は播種日から数えて79日目である。

4 審査結果

都農業振興事務所職員、農業改良普及員、JA職員、種苗会会員ら32名が参加し、公正かつ厳正に立毛100点および収穫物300点の配点による審査会を実施した。
入賞をはたしたのは、以下の通りである。

等級	品 種 名	出 品 社
I	カネコ交配 N-08T37	タキイ種苗(株)
II	武蔵野交配 若里	(株)武蔵野種苗園
II	晩々G (RA-277)	雪印種苗(株)
III	タキイ交配 TDA-705	タキイ種苗(株)
III	はこいり娘	朝日工業(株)
III	ND-21	(株)日本農林社



I 等
カネコ交配 N-08T37



II 等
武蔵野交配 若里



II 等
晩々G (RA-277)